

13. そしゃく機能障害	該当する状態を○で囲んでください		障害状態を詳細に記入してください				
	A. 通常の飲食物が食べられる B. かゆ食またはこれに準じる程度の飲食物であれば食べられる C. 流動食しか摂取できない		→ 喉下障害の為胃3Lからの注入				
14. 言語機能障害	該当する状態を○で囲んでください		言語機能障害の原因を○で囲んでください				
	A. 言語機能喪失（音声言語による意思の疎通が全くできない） B. 言語機能の著しい障害（身振り、書字その他の補助動作がなくては音声言語による意思の疎通が困難である） C. 言語機能の障害（簡単な単語の発語により意思の疎通がかろうじて可能） D. その他		a. 喉頭の摘出（全部） b. 中枢性失語症 c. 語音構成機能障害（口唇音・歯舌音・口蓋音・さう音等） d. 精神障害 e. その他				
15. 中枢神経系または精神の障害 (脊髄損傷を含む)・胸腹部臓器の障害	障害状態を詳細に記入してください（B～Dの場合）		障害の原因を詳細に記入してください（「e. その他」の場合）				
16. 脊柱障害	該当する状態を○で囲んでください						
	A. 食物の摂取はどの程度可能ですか ア. 箸を使用して可能 イ. 食器・食物を選定すれば自力で可能 ウ. 自力では困難 エ. 介助がなければ全く不可能		B. 排便・排尿はどの程度可能ですか ア. 通常便器で、自力で可能 イ. 特別の器具を使用すれば自力で可能 ウ. 特別の器具により、自力で排泄できるが、あとしまつは自力で不能 エ. おしめ、特別の器具を使用しており、自力では不能				
17. 欠損・短縮	C. 衣服の着脱・起居・歩行・入浴はどの程度可能ですか ア. 通常の身のまわりの動作可能 イ. ベッド上の起居・周辺歩行・衣服着脱・入浴かろうじて可能 ウ. ベット上の起居・周辺歩行のみかろうじて可能 エ. ねがえり・ベッド上の小移動のみ自力で可能 オ. 全くのねたきり状態		D. 精神状態（知能を含む）はどのような状態ですか ア. 通常の精神（知能）状態 イ. 障害が軽度で監視介助は不要 ウ. 障害が中程度で大部屋での監視介助が必要 エ. 障害が高度で常に監視介助または個室隔離が必要 オ. 意識全くなし（昏睡状態）				
	頸椎の自動運動範囲を記入してください		胸腰椎の自動運動範囲を記入してください				
前屈 0°～ 後屈 0°～		前屈 0°～ 後屈 0°～		通常の衣服を着用した状態で外部からみた変形			
右旋 0°～ 左旋 0°～		右旋 0°～ 左旋 0°～		□明らかにわかる □わからない			
右屈 0°～ 左屈 0°～		右屈 0°～ 左屈 0°～					
(四肢、手指、足指の切断の場合は、切断箇所にはっきりと線を入れてください。 四肢の完全運動麻痺の場合は、その部位を斜線で示してください。 下肢短縮の場合は、その程度(cm)を記入してください。)							
伸展度・屈曲度（自動運動範囲）を記入してください。完全運動麻痺の場合は、「0」と記入してください。							
18. 手指・足指の運動障害	第1指		第2指		第3指		
	右	近位指節間関節 ※第1指は指節間関節		0°～		0°～	
		中手指節関節		0°～		0°～	
	左	近位指節間関節 ※第1指は指節間関節		0°～30°		0°～30°	
		中手指節関節		-5°～40°		-5°～40°	
	右	近位指節間関節 ※第1指は指節間関節		0°～		0°～	
		中足指節関節		0°～		0°～	
	左	近位指節間関節 ※第1指は指節間関節		0°～10°		0°～10°	
		中足指節関節		40°～20°		60°～20°	
	伸展度・屈曲度（自動運動範囲）を記入してください。完全運動麻痺の場合は、「0」と記入してください。						
19. 四肢関節の運動障害	肩関節		肘関節		手関節		
	右		0°～		0°～		
	左		10°～80°		-40°～110°		
20. 請求意思能力	保険金・給付金を請求し、受取る行為の意味を理解できますか		<input checked="" type="checkbox"/> 理解できる <input type="checkbox"/> 理解できない <input type="checkbox"/> その他		請求意思能力について詳細に記入してください		